

ライチョウの一年

月	出現状況		換羽		生活のステージ				備考
	♂	♀	♂	♀	♂	繁殖失敗 ♀	♀	Juv.	
12					採食植物の露出度が積雪によって減るにつれ、徐々に標高の低い所へ生息地を移行していく。				
1	→				一部の個体は、室堂に出現。				
2	→				多くの個体は、1,800~2,200mの狭谷・樹林帯等で生活していると考えられる。		多くの個体は、1,800~2,200mの狭谷・樹林帯等で生活していると考えられる。		
3	→		↓						
4	→	→	↓						
5	↔	↔	↓	↓	採食集団 (10~30個体) ナワバリ争い	少数が分散			アルペンルート開通 G.W.人出混雑
6	↔	↔	↑	↑	ナワバリ形成 交尾	番(つがい)形成 交尾5月下旬~6月初旬ピーク 産卵1~2日に卵 抱卵21~22日			
7	↔	↔			ナワバリ解消		ヒナ巣立ち		高山植物 開花ピーク
8	↔	↔	↓	↓	日中は植生内に隠れている。	育雛 (いくすう)		巣立ち 雛期	ほぼ消雪 夏休人出混雑
9	↔	↔	↓	↓			幼鳥期		7月下旬~8月中旬
10	↔	↔			小集団 (3~6個体)			若鳥期	紅葉シーズン 人出混雑
11	↔	↔	↓	↓	集団を形成 (4~10個体)	家族都崩壊			初冠雪
	→	→	↓	↓					アルペンルート終了

* 出現状況は、標高2,300m以上へ出現 → 少数が出現 ⇒ 多数が出現 ↔ 2,300m以上に定着

* 換羽 ↓ 一般的な換羽期 ↓ 少数個体の早い換羽 ↑ 少数個体の遅い換羽 ♀1 は繁殖成功 ♀2 は繁殖失敗

* Juv. = Juvenile